



Title	機関リポジトリコミュニティの活性化：持続性のある活動のために
Author(s)	北海道大学附属図書館；千葉大学附属図書館；金沢大学附属図書館 他
Citation	
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/14167
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成20年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系)

平成21年7月10日 学術総合センター

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 平成20年度委託事業報告(領域2)

機関リポジトリコミュニティの活性化



—持続性のある活動のために—

代表機関: 北海道大学

分担機関: 千葉大学, 金沢大学, 大阪大学

連携機関: 小樽商科大学, 筑波大学, 早稲田大学, 広島大学

drf-liaison@lib.hokudai.ac.jp

報告者: 土出 郁子 (大阪大学)

事業の概要： DRF第2期へ

機関リポジトリを設置する国内の大学、研究機関によりデジタルリポジトリ連合 (Digital Repository Federation) を組織し、メーリングリストやウェブサイト、集合イベントによる情報共有、意見交換を通じ、国内における機関リポジトリの発展とオープンアクセス思潮の興隆につとめるとともに、同コミュニティを基盤として、設置機関が共通して抱える事業推進上の課題解決に取り組む。

数字

- 参加機関数:

58(H19)→ **87** (H20)

- 公開メーリングリスト参加アドレス:

468

- ウェブサイト閲覧数(トップページ):

20,667回

平成20年度の活動（国内WS）

- 第4回DRFワークショップ

(H20.11.27 パシフィコ横浜)

- 地域ワークショップシリーズ

- DRF/Share-Hiroshima (H20.10.29-30 広島大学)

- DRF/Share-Yamagata (H20.12.11-12 山形大学)

- DRF-Senri (H21.1.19-20 大阪大学)

- DRF-Ookayama (H21.2.9-10 東京工業大学)

平成20年度の活動（国内WS 2）

■ 全国ワークショップ(DRF4)のテーマ

- 学位論文ネットワークの形成：メタデータ標準化
- IR cures ILL
- 人材育成
- 著作権

■ 地域ワークショップのテーマ

- 実務担当者研修
- 事例報告
- 分科会（お悩み相談？）

クイズ大会,
すごろく♪

顔を合わせることが
大事！！

平成20年度の活動（国際関係）

- Berlin6 Open Access Conference ポスター発表
(11-13 Nov. 2008, Dusseldorf, Germany)
- SPARC Digital Repositories Meeting 口頭発表
(17-18 Nov. 2008, Baltimore, Maryland)
- 欧州DRIVER との覚書交換
- SWORD仕様書日本語訳
- DRIVERガイドライン第二版日本語訳

平成20年度の活動（個別プログラム）

- AIRway
- IR cures ILL
- Zoological Science meets Institutional Repositories
- SCPJ Project 2

Coming Soon !! DRFIC2009

オープンアクセスリポジトリの現在と未来－世界とアジアへの視点から－

日程：2009年12月3日(木), 4日(金)

場所：東京工業大学(大岡山) 東工大蔵前会館

口頭発表＋ポスターセッションあり(公募予定)

！公式サイトオープン！ 詳細は↓↓へ

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/DRFIC2009/>



他にもいろいろやります

- DRF5, 地域ワークショップ, 共同リポジトリ
 - 担当者の顔が見える, 元気になれるコミュニティ作り
- :

コミュニティの持続性確保のための検討

「持続性のある活動のために」

「楽」にいかな
ソンソン♪

